

# 海の声 (ソロVer)

本調子

七	
六	
工	
四	
中	
中尺	
工	
四	
工	

七	
六	
工	
四	
中	
中尺	
工	
四	
工	

四	
工	
合	
四	
工	
七	そ
六	ら
工	の
四	

七	こ
六	え
工	が
四	
中	
工	き
五	き
四	
五	た
工	く
工	て
四	
中	か
上	ぜ
中	の
合	

中	こ
七	え
六	に
五	工
四	み
	み
上	す
四	ま
上	せ
合	
七	う
六	み
工	の
四	

七	こ
六	え
工	が
四	
中	
工	し
五	り
四	
五	た
工	く
工	て
四	
中	き
上	み
中	の

中	こ
七	え
六	を
五	工
四	さ
	が
上	し
	て
四	る
合	
四	

中	
中尺	
工	
七	
六	
工	あ
	え
四	ない
	そう
尺	お
	も

# 海の声 (ソロVer)

本調子

中	う
上	ほど
四	に
合	
上	
合	
上	
七	
六	
工	あ
四	い
尺	たいがおお
	き
	く

中	な
上	つ
四	てゆく
合	
上	
合	
上	
七	
六	
工	か
四	わ
尺	の
	つ
	ぶ
	や

中	き
上	やまの
四	さ
合	さ
上	や
合	
上	
七	
六	
工	き
四	
五	こ
	えのよう

工	に
上	か
四	ん
合	
上	
合	
上	
七	
六	
工	じ
四	る
中	ん
上	だ

中	め
上	を
四	と
合	じ
上	れ
合	ば
上	
七	
六	
工	き
四	こ
五	え
	て
	く
	る

中	き
上	み
四	の
合	コ
上	ロ
合	コ
上	ロ
七	
六	
工	し
四	た
五	
	わ
	らい
	ご
	え

中	こ
上	え
四	に
合	だ
上	せ
合	ば
上	
七	
六	
工	と
四	ど
五	き
	そ
	う
	で

中	き
上	ょう
四	も
合	
上	
合	
上	
七	
六	
工	う
四	た
五	っ
	て
	る



# 海の声 (ソロVer)

本調子

中	
七	
六	
五 <sub>レ</sub> 工	
四	
上	
四	
合	
四	
合	
四	
四	た

中	と
上	え
四	ぼく
合	が
上	
合	おじい
工	さんに
合	なっても
五	

中	ここで
工	
工	
工	
中	うたっ
工	てる
工	

工	き
五	み
五	だけ
五	を
工	おもっ
工	て
五	
五	
五	
六	
合	う

七	み
六	の
工	
四	こ
七	え
六	よ
工	
四	
中	か
工	ぜの
五	
四	こ
五	え
工	よ
工	
四	そ

中	ら
上	の
中	
合	こ
中	え
七	よ
六	
五 <sub>レ</sub> 工	たい
四	の
四	こ
上	え
四	よ
上	
合	か

七	わ
六	の
工	
四	こ
七	え
六	よ
工	
四	
中	や
工	ま
五	の
四	こ
五	え
工	よ
工	
四	ぼ

中	く
上	の
中	
中	こ
中	え
七	を
六	
五 <sub>レ</sub> 工	のせ
四	
四	て
上	
四	ゆけ
四	



# 海の声 (ソロVer)

本調子

6/6

一、

空の声が 聞きたくて  
風の声に 耳すませ  
海の声が 知りたくて  
君の声を 探してる

会えない そう思うほどに  
会いたい が大きくなってゆく  
川をつぶやき 山のささやき  
君の声のように 感じるんだ

目を閉じれば 聞こえてくる  
君のコロコロした 笑い声  
声に出せば届きそう  
今日も歌ってる  
海の声にのせて

繰り返し

二、

たとえ僕が おじいさんになっても  
ここで歌ってる  
君だけを想って

海の声よ 風の声よ  
空の声よ 太陽の声よ  
川の声よ 山の声よ  
僕の声を 乗せてゆけ